

トビ う



【特集】市民インタビュー

商店街の活性化でまちを元気に

マミー商店街&市内の若手店主のみなさん

P2

3月定例会について

- 新年度予算を審査 P 4
- 審議した主な議案 P 11
- 市政について問う
《一般質問》 P 14
- その他の主な活動 P 23

No.102

平成 26 年
5 月 15 日発行
(通巻 211 号)



商店街の活性化で まちを元気に

マミー商店街 & 市内の若手店主のみなさん

羽村市でも最近、元気や個性があると評判のお店があります。そこで、富士見平にあるマミー商店街と、市内の若手店主の皆さんに、お店や商店街の活性化について語っていただきました。

マミー商店街は、2月にリニューアルしました。お客様の反応はどうですか。中村 経済産業省の補助を受け、老朽化したアーケードを撤去、商店街内の通路を子どもが遊べるような模様にし、LED街路灯や防犯カメラも付けました。懐かしい丸型郵便ポストも好評です。「明るくなつてよかったね」と言われます。もともとマミーは、お年寄り

と子どもにやさしい商店街がコンセプト。11店のうち、物売のお店が5店と少ないので、商店街というよりは、いこいの広場としてにぎわいを創出できれば、地域貢献もでき、新しいお店も増えてくると期待しています。

商店街グランプリで受賞

中村 平成15年頃から空き店舗が増えたことに危機感を感じ、商店街の会員の発案で月1回の日曜市を始めて9年目になります。平成20年からは明星大学と連携し、学生さんと一緒に夏祭りを

催しています。そこで、この取組みを東京都の商店街グランプリに応募したところ、23年度の「産・学・官・金連携」の取組みで優秀賞と奨励賞をいただきました。この年は地域の信用金庫の協力で、子ども達が仕入れから販売、売上計算を行う体験も行いました。

商店街としていろいろな取組みをしていますが、お店としてはいかがですか。入江 お母さんたちがお子さん連れでゆっくりできるカフェスペースにしたいです。萩原 花屋としていかに付加価値を高めるか、配達などにもこまめに対応していきたいですね。

中村 精肉店としてサービスと商品力は必然。それをどう作り出していか日々考えています。

若手店主の皆さんの現状と今後への取組みをうかがいます。草島 本町西口商店会のお客様は、目的のお店だけで他は寄らないなど難しい状況です。私の店は「街の電器屋さん」として、販売・機器の取付けなど、地域のつながりを生かしたサービスと、インターネットでの全国向けの通信販売の二段構えで展開中です。矢崎 小作地域は飲食店が非常に多く、店の入れ替わりも早い。まとめるのが難しいですが、若い店主は、一緒に小作地域を盛り上げたい気持ちが強いです。同じビル



マミー商店街会長・中村秀敏さん。精肉店「とりいち」店主



マミー商店街副会長の萩原真男さん。「神明台花園」店主



マミー商店街宣伝部長、「M's Kitchen」店主の入江真紀子さん

の6店舗でスタンプラリーや夏祭りを計画なので、マミーさんの事業を参考にしたいです。

動物公園を活用し、羽村駅との間に馬車を走らせたり、人を集める取組みが必要では。池田 宝物は足元にあると思う。羽村の美味しい水をもっとPRしたい。特に飲食店では大きな武器になると思います。

池田 羽村東口商店会では、最近駄菓子屋が開店し子ども達で賑わっています。一方で、市内だけがターゲットでは難しい。私の靴店も大半が市外のお客様です。定期的にミラノに仕入れに行き、大型店にもない靴が手に入ります。日本

入江 マミーは絆がより強くなつて、仲間のお店も宣伝できるようになってきました。この夏は「宵の市」を開き、多くの方に集まってもらえるよう計画中です。萩原 個々の良いところを出しながら頑張っていきたいと思っています。

羽村市にも大型店の進出が予定されていますが、商業の活性化についてどう考えますか。動物公園まで馬車を草島 顧客を共有化し、同時にその店の特色やブランドを作り出せる個店の力も必要です。矢崎 もっと外にアピールし、駅周辺に人が溢れるようにしたい。

中村 宅配サービスの「はむら市場」も活用し、どこのお店でも羽村中の商品を取り扱えば面白いかな。マミーの日曜市も最初は5店で始めました。実績が出れば他の店も加わってくれる。まずはできる人から、何かを始めることが大切です。



マミーの角に懐かしい丸型のポスト。実際にポストとして使えます！



草島俊幸さんは、羽村駅西口で操業69年の「クサジマ電器」3代目



小作の居酒屋「和DINING 東風縁」の店主、矢崎勝人さん



羽村駅東口の「池田靴店」の2代目、池田隆朗さん

●インタビューを終えて…

マミー商店街に限らず、店主の方はいろいろな工夫と努力を重ね頑張っています。羽村の小売店は約250店。売上高は約390億円。お店を育てるのも市民の力です。商店街の元気が街の魅力につながっていることを、私たちも再確認しました。皆さんお忙しいところありがとうございました。

(敬称略)

【表紙の写真】 マミー商店街の花屋「神明台花園」の萩原さん (26年4月22日撮影)



審議した主な議案

平成26年度予算341億円を可決

予算審査

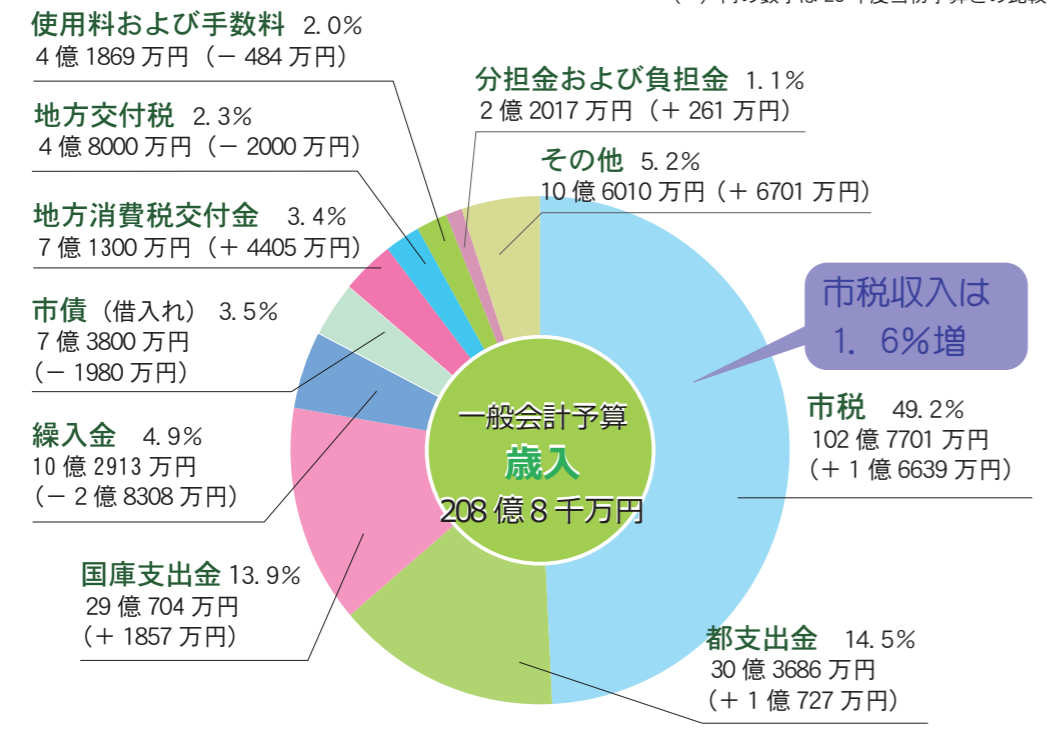
予算審査では、新年度の予算がどう使われるか羽村市の現状や市民ニーズに応えた内容かどうかを特別委員会を設置して審査します。その結果、7会計の予算をすべて原案のとおり可決しました。

この特別委員会の審査結果を本会議最終日に報告。一般会計は修正案が出されましたが否決となり、7会計の予算をすべて原案のとおり可決しました。特別委員会での審査の概要をお知らせします。

※内容は要約しています。

一般会計予算〔歳入〕の概要

() 内の数字は25年度当初予算との比較



市民税個人分は、震災復興特別税に係る個人住民税均等割額の上乗せや税制改正による増、市民税法人分は、一部大手企業の業績回復による増、軽自動車税は課税台数の増などが見込まれる一方で、固定資産税は、償却資産について、新規の設備投資が少なく、既存資産の減価償却が進むことなどから減額が見込まれました。

一般会計は前年度比1億円減の208億8千万円

歳入Q&A

- Q** 市税が歳入予算に占める割合が49.2%だが、26市の平均はどのくらいで、羽村市は26市中何番目か。
A 26市の平均は48.6%、羽村市は12番目。割合が一番高いのは武蔵野市で62.6%である。
- Q** 市の26年度の景気の動向をどう捉えているか。
A 中小企業においてはまだなかなか厳しい状況なので、市の施策を産業振興に反映させていきたい。
- Q** 増収の方法として26年度予算で何をしていますか。
A 市税の確保に加え、公募による公共施設への自動販売機の設置、有料広告事業を実施するとともに、国・都の補助金を積極的に獲得していく。
- Q** 消費税率引き上げの影響がどう出ると考えるか。
A 歳入では、地方消費税交付金が8400万円ほど増収。一方、自動車取得税の税率減少による自動車取得税交付金の減額が1800万円ほどになる。歳出では、消費税率の引き上げにより約1億2000万円の支出増となる。
- Q** ゆとりぎ芸術公演のチケット売上が前年度比で大きくマイナスになっている理由は何か。
A 公演についてはプロダクション等を通さず、地元音楽家の招へいや市民参加型の事業にしたり、また補助金を申請して経費を補うなどしてチケットを低額に抑えているため、売上料の予算としては減っている。

平成26年度予算 各会計の前年度との比較

(単位：千円)

区分	平成26年度(当初予算)	平成25年度(当初予算)	増減額	増減率	
一般会計	20,880,000	20,980,000	-100,000	-0.5%	
特別会計	国民健康保険事業	6,422,500	6,493,000	-70,500	-1.1%
	後期高齢者医療	932,700	858,400	74,300	8.7%
	介護保険事業	2,812,500	2,627,700	184,800	7.0%
	羽村駅西口土地区画整理事業	319,300	415,300	-96,000	-23.1%
	下水道事業	1,250,300	1,279,500	-29,200	-2.3%
	特別会計合計	11,737,300	11,673,900	63,400	0.5%
水道事業会計(公営企業会計)	1,518,761	1,434,312	84,449	5.9%	
合計	34,136,061	34,088,212	47,849	0.1%	

平成26年度 予算審査特別委員会

「平成26年度羽村市一般会計等予算審査特別委員会」は、議長を除く17人の議員で構成されました(委員長：石居尚郎議員、副委員長：馳平耕三議員)。

予算審査特別委員会は3月14日、17日、18日の3日間にわたって行われ、7会計の予算を慎重に審査し、すべての会計予算を原案のとおり可決しました。

Q インクルーシブ教育システムコーディネーターの仕事は。
A 主に固定学級、通級指導学級、特別支援教室、教育相談室など様々な支援機関を結び付けるための連絡調整を行う。配置は1名を予定。

Q 児童館と杏林大学とのコラボレーションについて、26年度は。
A 子どもとの関わりや指導員・クリエーターの指導などの内容で、大学の保健部と、5月の実現を目的に調整を行っている。

子ども・教育



Q 広島平和啓発事業の内容は。
A 公募により、中学生5人を選考する予定。事前の勉強会を2〜3回、事後に報告書をまとめるほか、戦後70周年の平和作文集にも寄稿してもらう。広島では平和記念式典に出席するほか、全国から集まる青少年の交流事業に参加、また平和記念資料館や原爆ドームの見学等を予定している。
 ※インクルーシブ教育：障害の有無に関わらず同じ場で学べるよう、多様で柔軟な支援ができる教育環境を作り上げていくこと。

産業

Q 商工費の職員人件費が増額になる理由は。
A 産業振興施策のより一層の充実を図ること、産業振興計画策定のための職員配置の増による。

歴史

Q 羽村市史はどのような方向性で編さんするか。
A 戦後の高度経済成長、町から市への変革を中心に、古代からの歴史を綴る。市民が羽村に愛着を持つような資料にしたい。

環境・健康

Q 小型家電の回収はどう行うのか。
A リサイクルセンターと市役所に1個ずつ回収ボックスを設置する。対象は、ボックスの入口から入る大きさの携帯電話やゲーム機等の小型家電になる予定。
Q 30・35歳健康診査は何人を見込んでいるか。周知の方法は。
A 30・35歳人口の約30%、445人を見込んでいる。周知は広報紙や市ウェブサイトで行う予定。

特別会計 Q & A

国民健康保険事業

Q ジェネリック医薬品の差額通知に130万円かけているが、効果は。
A 25年度は約553万円の効果が発生している。

介護保険事業

Q 介護予防リーダーの26年度の育成予定は。
A 15名を予定している。平成19年度から、毎年15人ずつ募集しているが、なかなか定員に満たない。現在、講座修了者は83名だが、25年度実際に活動しているのは29名。

西口土地区画整理事業

Q 西口区画整理事業の人員費が2人分増えているが、業務の内容は。
A 住宅市街地整備事業、建物移転にかかる補償調査の業務等に従事する。

下水道事業

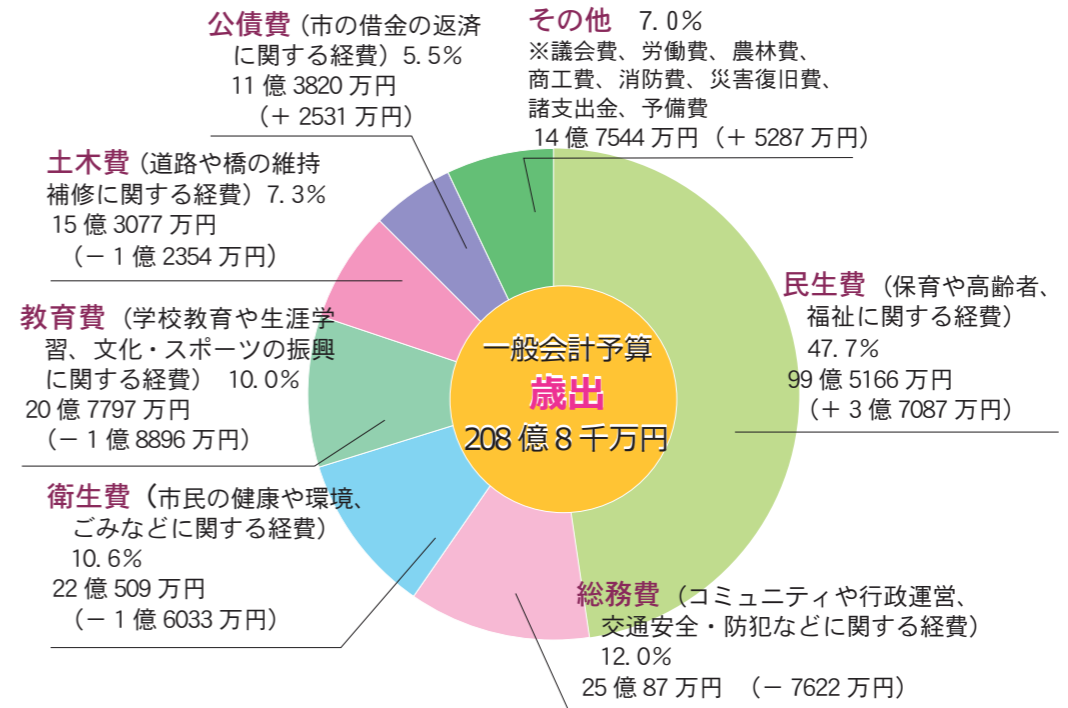
Q マンホール蓋の長寿命化工事とは。
A 25年度からの5か年計画で市内のマンホール蓋444枚を交換する。26年度は川崎・羽中地区を中心に100枚を予定。

水道事業

Q 水道料金の値上げに対する市民の反応は。
A 22件の問合せがあった。どう変わるのか、理由等についての問合せが主で、特に値上げに対する苦情等はなかった。

一般会計予算〔歳出〕の概要

() 内の数字は25年度当初予算との比較



平成26年度予算は、「市民生活の安全と安心」、「都市基盤整備」、「産業の活性化」、「市民活動の活性化」、「生涯学習の推進」、「地球温暖化対策」という、これからのまちづくりの柱となる6つの重要施策について、積極的に予算化が図られました。

まちづくりの柱となる6つの施策

市民生活の安全と安心 (主に総務費)	約6億8468万円
防災週間の設定や防災行政無線のデジタル化、公共施設の耐震化の取り組みなど	
都市基盤整備 (主に土木費・西口事業)	約4億9047万円
西口区画整理事業の推進、インフラの整備と維持補修など	
産業の活性化 (主に商工費)	約2891万円
産業振興計画の策定、羽村にぎわい商品券の発行など	
市民活動の活性化 (主に総務費)	約2267万円
地域の安全安心ネットワークづくり促進事業、コミュニティ活動の支援	
生涯学習の推進 (主に教育費)	約1251万円
読書手帳の小・中学生への配布、多摩島しょ子ども体験塾事業など	
地球温暖化対策 (主に土木費・衛生費)	約4612万円
街路照明施設の省エネ改修工事、みどりの創出推進事業など	

※特別会計、公営企業会計を含む

歳出 Q & A

福祉・安全・コミュニティ

Q 生活保護を受けている人の割合は羽村市では何%で、26市中何番目か。
A 人口の1・3%、26市中下から8番目になる。

Q 安全安心ネットワークづくり促進事業とは。
A 町内会・自治会等の地域団体を対象に防災をテーマにした研修を開催すること。

Q 生活保護を受けている人の割合は羽村市では何%で、26市中何番目か。
A 人口の1・3%、26市中下から8番目になる。

Q 自転車運転のマナー向上について、26年度の取り組みは。
A 25年度は中学校での交通安全講習会に地域の老人クラブや町内会にも参加してもらった。26年度は主婦層にも広げたい。

Q とにより、地域の団体のつながりを促進していく。

一般会計予算に対する

意見

一般会計予算原案に対しては、賛成の意見が4件、反対の意見が3件出されました。
一般会計予算は、本会議での採決により、原案のとおり可決されました。

賛成

市民生活の安全と福祉の向上に寄与する施策を確認

平成26年度一般会計予算規模は208億8000万円で、前年度比0.5%減となった。
歳出の主なものを見てみると、
①特別支援教育の環境整備や、小・中学校への『読書手帳』配布
②30・35歳健康診査等の実施
③移動系防災行政無線機器のデジタル化、
④飼い主のいない猫対策や、ポイ捨て等防止対策の実施
⑤羽村堰下橋等の耐震補強等設計委託など、市民生活の安全と福祉の向上に寄与する施策が確認できた。引き続き行財政改革に積極的に取り組むよう要望し、本予算に賛成する。
(新政会市民クラブ)

反対

借金を増やさず貯金を崩さない予算運営が求められているが

市民税個人分は前年度比で微増にとどまり、法人分についても、中小企業はいまだ厳しい状況にある。
4月からの消費税増税により、市民の暮らしはさらに厳しさが増すと予想される。少子高齢化に対応し「借金を増やさず貯金を崩さない」予算運営が求められる。しかし、地権者の3分の1が反対している羽村
駅西口区画整理事業に3億1444万円も繰り出している。一方で、臨時財政対策債は6億円を借り入れている。昨年引き続き臨時職員の特別手当が削減されたが、賃金アップを進める動きとも逆行している。以上の理由により反対する。
(市民ネットワーク「いきいき広場」)

賛成

6つの重要施策を重点的に予算化したことを評価

東日本大震災の後、台風被害、大雪等の自然災害が猛威をふるい、災害対策の重要性も増大し、消費税引き上げも4月から決まっている。
その中で、平成26年度予算は、「市民生活の安全と安心」「都市基盤整備」「産業の活性化」「市民生活の活性化」「生涯学習の推進」「地球温暖化対策」の6つの重要施策を重点的に予算化が図られたことは評価できる。大雪という自然災害を通し、市民協働の大切さも実感する中、誰もが安心して住めるまちづくりに向けての体制の構築と、様々な部署が連携した大胆な発想の転換などによる活性化を望み、賛成する。
(公明党)

反対

内部矛盾を抱えた予算

羽村市の人口は、第五次長期総合計画の最終年・33年度の推計をすでに下回っている。人口減少、高齢化が加速、拡大型から縮小型の街づくりへ転換せねばならない。
行政の仕事は住民の最大限の幸福の追求である。そのためにはリーダーの理念、正しい現状認識、その上で決断、実行が必要である。残念ながら予算にはその方向性が見えない。公共資産総合計画で30年後の人口減少を視野に入れながら、西口区画整理では1.4倍の地域人口増を掲げるのは内部矛盾である。区画整理事業への繰出金3億1444万円と土地権利者の会補助金30万円の削除を求めて予算案に反対する。
(世論)

賛成

堅実な予算編成

平成26年度は「子ども・子育て支援事業計画」「産業振興計画」「公共資産総合計画」等、重要施策の策定の年度である。第五次長計に掲げる羽村市の将来像実現に向け、「若者フォーラム」等の活用を含め、あらゆる世代の市民一人ひとりの声を生かす計画の策定が望まれる。
の支出金を有効に用い、また基金からの繰入れも前年度と比べ減となっており、堅実な予算編成であることが理解できた。
引き続き、国や都府県の補助金の確保による事業の充実、市税収入の確保に努め、質の高い市民サービスを提供していくことを望み、賛成する。
(民主党)

反対

見過ごすことのできない問題点を持つ予算

市民の暮らしや経営の厳しさが続いているも、それらを支え、また、市民の多面的な要望にこたえる予算かどうかが問われた。
評価できる点として、特別支援学級の増設、電気バスはむらんのルート延伸などがあつた。一方、評価できない点として、羽村駅西口土地区画整理事業への繰出金などがあった。この事業への反対の声は引き続き大きく、見直すことが必要である。そうすれば、借金を減らしつつ、さらに市民要望に応える施策の充実ができるはずである。
見過ごすことのできない問題点を持つ本会計案に反対する。
(日本共産党)

賛成

財政の健全性を維持しつつ重点施策を優先的に予算化

本予算は財政の健全性を維持しつつ、まちづくりの柱となる市の重点施策に優先的に予算化が図られている。子育て支援と保育・幼児教育の充実、福祉

社会の実現への取組みがなされている。また健康づくりと保険・医療の充実として、特定健康診査の休日の集団検診で受診率の向上をめざしたことは、待ち

から攻めへの施策転換と言える。さらに、若者の意見を市政運営に反映するため若者フォーラムの実施、土地等公共資産の有効活用への道として、公共

資産総合計画の策定への足掛かりをつけたことなど高く評価する。予算執行にあたっては手戻りを少なくし、柔軟な考え方を要請し、賛成する。(新しい風)

